



たきいNOW



たきいNOWとは?

たきいNOWは、地域の皆様に滝井病院の「いま」をお伝えし、当院が提供する医療へのご理解を深めていただくことを主旨として発行しております。

コンテンツ

- ♥大阪府がん診療拠点病院の指定にあたり
- ♥緩和ケアチームについて
- ♥循環器腎内分泌代謝内科部長 新任のご挨拶
- ♥網膜硝子体センターについて
- ♥甲状腺外科センターについて
- ♥患者さん送迎用無料巡回バスのお知らせ

新病院病室イメージ図



大阪府がん診療拠点病院の指定にあたり



がん治療・緩和センター センター長 石井 一慶 教授

平成27年4月1日に滝井病院が大阪府のがん診療拠点病院に指定されました。それを受けて、新たにごん治療・緩和センターを設置することとなり、そのご紹介を申し上げます。

わが国ではがんは死因の第1位であり、がんの撲滅は国を挙げて最も重要な対策の一つです。厚生労働省はそのシステム構築のためにがん診療拠点病院を定めています。国と大阪府に分けて指定していますが、大阪府指定のがん診療拠点病院とし

ては大阪府全体で60病院があり、滝井病院が位置する北河内医療圏では当院が4施設目の指定となります。

がん治療に関しては抗癌剤治療、放射線治療、外科的治療、内視鏡的治療など様々であり、該当科と多科との連携が重要です。治療方針決定に際し、病理診断科、放射線科は診断を支えています。そして身体的、精神的な苦痛を和らげる緩和医療も併存すべき大事な医療です。スタッフとしては担当医、看護師以外に、緩和医療チーム、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーなどの職種が多方面から患者さんを支えています。当センターの設置以前から緩和ケアチームがすでに積極的に活動しており、これら包括的医療は滝井病院で定着して行われています。がんを患われた患者さんがさらにより良い医療を受けることができるように、当センターが病院全体の連携を強化し、がん治療・緩和医療をサポートするチームアプローチの確立を強固にいたします。

また、がんに立ち向かうためには患者さんのみならず、ご家族も含めた精神的、経済的、そして社会的な支援も必要です。その様々な相談を当院のがん相談支援センターが既に行っていますが、がん治療・緩和センターの元にますます発展していきたいと思ひます。

加えて、がんに関する情報提供、一般の方も対象にした教育なども順次行い、患者会の設立も検討します。

滝井病院は80年以上にわたり、地域医療に貢献してきました。その英知を集結してスタッフ一丸となり、がん診療に少しでもお役に立ちたいと思ひます。



緩和ケアチームについて



ペインクリニック・緩和医療科 科長 **増澤 宗洋** 准教授

がん治療の最近の進歩はめざましく、がん治療を継続しながら通常の生活を送られる患者さんも増加しています。

緩和ケアとは、いのちをおびやかす病気に罹られた患者さんが抱える様々な問題(痛みをはじめとした体の症状、不安や悲しみといった心のつらさ、生活全般に関する悩みなど)をできるだけ和らげ、患者さんとご家族の生活の質(Quality of Life)を高めるための医療です。すなわち、生命を脅かす疾患の患者さんやそのご家族にたいして、現在の治療の目的を確認し、今後の見通しをたて、患者さんが現在何に困っているのかの見極めをおこない、その苦痛を緩和することにより、患者さんやご家族の現在のQOLを最大限まで高めることを目標とする医療行為といえます。がんの治療ができなくなった患者さんへの医療ではなく、がんと診断された時から「がんの治療」と共に「緩和ケア」を受けることが大切だと考えられています。

急性期病院である当院においては、終末期や臨死期に限らず早期がん患者にも対応しています。

また、症状緩和をより短期間に図り、在宅療養につなぐ短期緩和医療にも重点を置くことを目指し、積極的に緩和医療を行っています。緩和ケアチームは、各診療科の医師やがん看護を専門とした看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなどの多職種で構成されています。患者さんやご家族が抱える“つらさ”を、和らげるためにはどのようにすれば良いかを担当医や病棟スタッフと一緒に考え、より良い医療と療養環境を提供できるように心がけています。



循環器腎内分泌代謝内科部長 新任のご挨拶



循環器腎内分泌代謝内科 部長 山本 克浩 准教授

この度、4月1日より循環器腎内分泌代謝内科の部長を拝命いたしました。当科は、循環器内科、腎臓内科、内分泌代謝内科の総称であります。それに加え、透析センター、健康科学センターも統括しております。循環器内科は、狭心症、心筋梗塞、心不全、弁膜症、不整脈、下肢閉塞性動脈硬化症に対し先進的な診療を行っております。腎臓内科は、尿検査異常や様々な腎臓疾患の診断加療、慢性腎臓病の進行予防管理、腹膜透析や血液透析の診療を行って

おります。内分泌代謝内科は、糖尿病を主とする代謝疾患、内分泌疾患を対象疾患とし、糖尿病治療は新しい作用機序の治療薬が数多く登場し、その治療は多様化し複雑化してきておりますが、合併症予防的に健康管理外来、フットケア外来などの指導を含め、専門スタッフによる適切な診療を行っております。

当科では、先ず、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病をしっかりと管理する事で、動脈硬化疾患の進行を予防し、狭心症、心筋梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症、腎不全などの様々な疾患の発症には、適切な診断の上に安全かつ必要な診療を行っております。

私自身は、心臓カテーテル検査、心臓血管に対するカテーテル手術、ペースメーカー手術を専門とし、検査および手術における手技の安全性、精度を高め、優秀な人材の育成に努めながら、当科の医療レベル向上を進めております。

平成25年からは、心臓血管病センター長に聖路加病院より世界的に有名な心臓外科医の川副浩平先生をお迎えし、循環器内科より全ての心臓手術をお願いできる環境になりました。

現在救命救急センターと密に連携し24時間CCU体制の救急医療を実施し、急性心筋梗塞症や心不全などの救急患者さんの受け入れを行っております。

来春の新病棟開院をひかえ、当科を受診していただいた皆様が、適切な医療を安全かつ確実に受けていただける様に、外来および入院に於ける環境を更に整えていく所存でございます。何卒よろしくご挨拶申し上げます。

《略歴》

- 平成2年6月 関西医科大学附属病院内科研修医開始
- 平成3年6月 関西医科大学附属病院第二内科入局
- 平成13年4月 新宮市立医療センター循環器内科医長
- 平成16年7月 新宮市立医療センター循環器内科部長
- 平成19年5月 関西医科大学第二内科講座助教
- 平成19年10月 関西医科大学附属滝井病院講師
- 平成23年5月 関西医科大学第二内科講座講師
- 平成24年3月 関西医科大学附属滝井病院准教授
心臓血管病センター副センター長
- 平成27年4月 関西医科大学附属滝井病院
循環器腎内分泌代謝内科部長

《所属学会 資格》

- 日本内科学会(認定内科医、指導医)
- 日本循環器学会(認定専門医)
- 同近畿地方会 評議員
- 日本心血管インターベンション治療学会
(認定医、専門医、指導医)
- 同近畿支部 幹事
- 日本不整脈学会(植込み型除細動器(ICD)／
ペーシングによる心不全治療(CRT)研修修了)
- 日本高血圧学会(指導医)
- 日本心臓病学会
- 日本動脈硬化学会

甲状腺外科センターについて



センター長 耳鼻咽喉科 **岩井 大** 教授

皆様、関西医大滝井病院がリニューアルされるのをご存知でしょうか。私ども職員は、滝井にもっか建設中の新病院が日を追うごとに高くなっていくのを、大変誇らしく感じるとともに、そこで働く私どもの医療レベルも、一層向上させようと心を躍らせているところであります。

新病院のスタートは平成28年5月からですが、開院してから腰を上げたのでは遅い。1年前の平成27年5月からスタートしました「甲状腺外科センター」であります。

甲状腺疾患は放射能汚染で増えることが知られていますが、汚染がなくてもしばしば発症します。甲状腺機能異常、バセドウ病、甲状腺腫瘍、甲状腺がんなどの名前を聞かれたことがあるでしょう。また、こうした疾患で皆様のまわりにも治療を受けられた方がおられるでしょう。

永らく発展の乏しかった甲状腺治療の分野は、最近急速な進歩を遂げました。バセドウ病や高危険度(進行)甲状腺がんに対する医療用放射線(I-131という放射性ヨード)内服治療、甲状腺がんの新しい手術法と切除範囲の適正化、化学療法(抗がん剤としての分子標的薬)、診断率向上のためのPET-CT画像検査などです。当院ではこうした治療技術をいち早く取り入れました。大学附属総合病院であることを活かし、内分泌代謝内科・形成外科・心臓外科・放射線科などと協力システムを作り、患者さん一人一人の治療計画作製のもと、診療に当たっております。

本当のところはほかにも、当院耳鼻咽喉科の専門性を活用して、耳下腺センター、喉頭癌センター、中耳炎センター、鼻アレルギー・副鼻腔炎(蓄膿)センターなどをあわせて立ち上げたいところですが、これらは将来のお楽しみといたします。

以上のごとく、甲状腺外科センター設立のもと、甲状腺治療の充実に向け、スタッフ一同益々努力しております。どうぞご利用くださいませ。



副センター長
形成外科 **鈴木 健司** 准教授



副センター長
放射線科 **宇都宮 啓太** 准教授



副センター長
循環器腎内分泌代謝内科 **野村 恵巳子** 助教

網膜硝子体センターについて

センター長 眼科 **西村 哲哉** 教授

副センター長 眼科 **尾辻 剛** 准教授

網膜硝子体疾患の治療は近年めざましい進歩を遂げています。難治性の増殖糖尿病網膜症や重症の網膜剥離といったこれまで治療が困難であった症例も手術機器や手術顕微鏡の進歩で治療が可能となりました。また加齢黄斑変性や網膜静脈閉塞症など従来は視力回復が困難であった疾患も特殊な薬物を眼内に投与することで、早期発見できれば視力回復が可能な時代になってきました。当院ではいち早くこれらの最新の治療を導入し、数多くの実績をあげてきました。

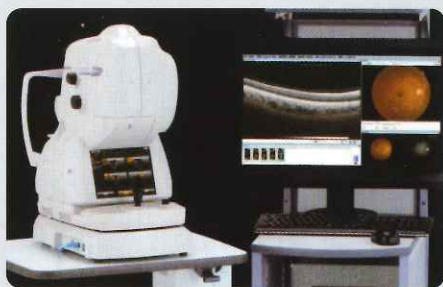


網膜硝子体疾患とは

網膜とは、眼球の一番後ろにあり実際に映像を映し出しているところです。現在の医学では代替となる人工物がなく、万が一病気を発症したら治療は非常に困難です。硝子体とは網膜に接してその前方に存在するゼリー状の透明組織で、加齢に伴い変性し、硝子体と網膜との癒着がある場合は網膜を牽引して重篤な疾患を引き起こす場合があります。また網膜の後方に存在し、網膜に酸素や栄養分を補給する脈絡膜という血管でできた組織がありますが、網膜・硝子体に脈絡膜が原因の疾患を含めて網膜硝子体疾患と呼ぶことが多いです。

増殖糖尿病網膜症や重症の網膜剥離では網膜と硝子体が強固に癒着しており、失明の可能性がある病気です。硝子体手術が有効な疾患としては糖尿病網膜症、裂孔原性網膜剥離、黄斑円孔、網膜上膜形成症(黄斑前膜)、中心窩網膜分離症、網膜静脈閉塞症などがあります。

近年急速に増加している滲出型加齢黄斑変性は脈絡膜から生えた新生血管と呼ばれる異常な血管が網膜に侵入する病気で、従来は光線力学的療法(PDT)という特殊なレーザーで治療していましたが、現状維持が精一杯で視力回復は夢の話でした。最近視力回復が可能な治療として、抗VEGF薬と呼ばれる特殊な薬剤を硝子体に注射する治療法ができました。またこの治療薬は糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症でおきる黄斑部(網膜の中心部)の浮腫に対して、血管からの水漏れを止める効果があることが証明され、幅広い網膜疾患で次々と認可されています。ただ現在のところ注射は長期間の継続が必要で、外来通院を続けていただく必要があります。



これまでの実績

年間の硝子体手術件数は約500件で、うち網膜剥離は約170件、糖尿病網膜症110件で、硝子体注射(抗VEGF療法)は約1500件、行っています。硝子体手術は小切開無縫合硝子体手術をいち早く導入し、入院期間の短縮と術後早期の回復が得られています。その他にも当院倫理委員会の承認の下、糖尿病黄斑症に対する新しい手術治療や、難治性の黄斑円孔に対する内境界膜翻転法、内境界膜移植術、慢性中心性漿液性脈絡網膜症に対する治療など、最新の医療を行い、それぞれに良好な結果を得ています。

網膜硝子体センターのこれから

網膜硝子体センターは眼科を中心とした関連各科と連携し、最新の治療をより安全に受けていただくよう平成27年3月に発足しました。

硝子体手術機器としては、現在稼働中の高性能の手術装置に加え、新たに国際的にも高い評価を得ている最新の手術装置を導入予定です。また糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症、網膜裂孔の治療としてレーザー治療がありますが、短時間の治療時間で痛みがない最新のレーザー機器を導入予定で、患者さまの負担軽減に努力しております。硝子体注射でも平成28年春に開院予定の新病院ではより多くの患者さまにできるだけ早く治療できるように、注射専用ベッドを確保いたしました。

また診断機器もすでに最新のものが揃っていますが、さらに次世代の高侵達光干渉断層計(OCT)が導入予定となっており、より低侵襲で正確な診断ができるように体制を整えつつあります。

これからも安心して満足いただける医療を提供できるよう、職員一同努力してまいります。



関西医科大学附属滝井病院 患者さん送迎用 無料巡回バスのお知らせ



バス運行経路

- 1号車** 大日方面行き
- 2号車** 鶴見区方面行き
- 3号車** 旭区・太子橋今市方面行き

*** 注意事項 ***

- * 無料でご利用いただけます。
- * 休診日は運行しておりません。
- * 停留所以外での乗降はできません。
- * 道路事情によりバスの到着が遅れることがあります。
- * 車イスをご利用しての乗車はできません。

附属滝井病院では4月1日から、大日方面・旭区・太子橋今市方面・鶴見区方面の3ルートで、患者さん送迎用無料巡回バスを運行することになりました。当院ご来院の際は、是非ご利用ください。

患者さん送迎用 無料巡回バス時刻表 (平成27年7月1日現在)

1号車 大日方面
土曜日は滝井病院北館前、12時45分発が最終の運行となります。

乗降場所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便			
① 関西医大滝井病院北館玄関前	発	7:50	8:30	9:10	9:50	10:45	11:25	12:05	12:45	13:25	14:05	15:00	15:40		
② イオン大日ロータリー前		↓	8:10	8:50	9:30	10:10	11:05	11:45	12:25	13:05	13:45	14:25	15:20	16:00	
③ 関西医大滝井病院北館玄関前			↑	8:25	9:05	9:45	9:45	11:20	12:00	12:40	13:20	14:00	14:40	15:35	16:15

2号車 鶴見区方面
土曜日は滝井病院北館前、13時発が最終の運行となります。

乗降場所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	
① 関西医大滝井病院北館玄関前	発	8:00	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00
② セブンイレブン大阪清水駅前店前		8:07	9:07	10:07	11:07	13:07	14:07	15:07	16:07
③ 府道8号線ローソン横堤4丁目店前		8:20	9:20	10:20	11:20	13:20	14:20	15:20	16:20
④ 花博道路J-COX前		8:25	9:25	10:25	11:25	13:25	14:25	15:25	16:25
⑤ 花博道路くら寿司前		8:27	9:27	10:27	11:27	13:27	14:27	15:27	16:27
⑥ 信愛女学院正面ポスト前		8:37	9:37	10:37	11:37	13:37	14:37	15:37	16:37
⑦ ファミリーマート清水2丁目店前		8:45	9:45	10:45	11:45	13:45	14:45	15:45	16:45
⑧ 関西医大滝井病院北館玄関前	着	8:55	9:55	10:55	11:55	13:55	14:55	15:55	16:55

3号車 旭区・太子橋今市方面
土曜日は滝井病院北館前、13時発が最終の運行となります。

乗降場所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	
① 関西医大滝井病院北館玄関前	発	8:00	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00
② セブンイレブン守口京阪本店前		8:05	9:05	10:05	11:05	13:05	14:05	15:05	16:05
③ ローソン中宮工大前店前		8:15	9:15	10:15	11:15	13:15	14:15	15:15	16:15
④ 赤川1丁目東駐車場前		8:25	9:25	10:25	11:25	13:25	14:25	15:25	16:25
⑤ プレ・ポヌールマンション前		8:35	9:35	10:35	11:35	13:35	14:35	15:35	16:35
⑥ 太子橋今市駐輪場前		8:45	9:45	10:45	11:45	13:45	14:45	15:45	16:45
⑦ 関西医大滝井病院北館玄関前	着	8:55	9:55	10:55	11:55	13:55	14:55	15:55	16:55